



訪問看護 できること・していること

1

訪問看護連絡協議会第5地区支部
訪問看護ステーション
レインボウとよさと 谷川明実

訪問看護とは？

- 病気や障害を持った人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活をおくられるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービス。24時間緊急連絡対応体制。
 - 医師やケアマネージャー、多職種と連携して予防的支援から看取りまでを支えます。
- * 居宅だけではなく、施設(認知症グループホーム、特養)との医療連携契約により定期的な訪問と緊急時の対応も行っています。

2

どんな人が受けられるのか？

- 病気や障害のために療養生活の支援を必要とする方。乳幼児から高齢者まで、主治医が訪問看護の必要を認めた全ての方が受けられます。(医師の訪問看護指示書が必要)
- 介護認定をうけられた方は介護保険が優先。
- 但し疾病によっては医療保険での対応。
- (がん末期、人工呼吸器利用者、頸髄損傷、厚生労働大臣が定める疾病等)
- 特別指示書での対応(真皮をこえる褥瘡、急性増悪により頻回に訪問が必要な場合等)
- * 医療処置が必要な方や重症な方だけではなく認知症やとじこもりがちな高齢者で寝たきりになる恐れのある方(廃用症候群)、心のケアが必要な方などなど。

3

訪問看護って何をしてくれるの？

- 健康状態の観察と助言
- 医療処置、治療上の看護
- 日常生活の看護(清潔、排泄、食生活、寝たきり予防のケア、療養環境の整備等)
- リハビリテーション看護(体位交換、関節などの運動や動かし方の指導、ADL訓練、外出、レクリエーションの支援等)
- 精神、心理的な看護(不安な精神、心理状態のケア、服薬ケア、リラックスのためのケア等)

4

- 認知症の看護(認知症状に対する看護・介護相談、コミュニケーションの援助、生活リズムの調整等)
- 介護者の相談(介護負担、健康管理、日常生活に関する相談、精神的支援等)
- 様々な在宅ケアサービス(社会資源)の使い方相談
- 終末期の看護(痛みのコントロール、療養生活、環境の調整、援助、看取りの体制への相談、アドバイス、本人、家族の精神的支援)
- 介護サービス導入が困難なケースで、まずは訪問看護を導入し訪問介護やデイサービスにつながるケースもある。
- オプションでの利用(旅行、外出の同行等)

5

この地域の訪問看護事業所

- 彦根市訪問看護ステーション ほほえみ
- 訪問看護ステーション すずらん
- 訪問看護ステーション かがやき
- 彦根中央病院 訪問看護室
- ニチイケアセンター 訪問看護ステーション
- レインボウ とよさと
- レインボウ はたしょう、(サテライトたが)
- レインボウ ひこね

6

湖東地域訪問看護事業所 8カ所



施設への訪問

○ 認知症グループホームへの訪問

施設との医療連携契約により訪問することができる。定期的な訪問や緊急時の対応もステーションと施設が契約をする。がん末期や神経難病などの厚生労働大臣が定める疾病等や、病状悪化による特別指示期間の場合は、医療保険による訪問看護が受けられる。

施設での看取りケアも可能

- 特別養護老人施設への訪問

施設とステーションが委託契約し、ショートステイの際に訪問看護師が出向いて(褥瘡処置、インシュリン注射等)行う。施設の看護師との連携

事前に利用者、家族、施設職員、ステーション職員などで協議が必要。

多職種との連携、協働が重要！

- 生活支援に関わるヘルパーさんからの情報は重要。食事の状況、嚥下状態、話し方、歩き方、排泄物の変化等「普段の様子」を知っているヘルパーさんからの情報が悪化予防や早期の対応につながる。
- 施設での様子と自宅での様子の違いからみえてくる課題もある・・・
- 一人ひとりのQOLを目指して、役割分担や業務範囲を明確にしてチームケアを行いましょ！

オプションでの利用も・・・

今までの例・・・

- 難病で気管切開、喀痰の吸引が必要な方の甥の結婚式の同行
- 難病の方で、旅行をするのに不安が大きく同行を希望された方
- 人工呼吸器をつけた利用者のレスパイト入院時の送り同行

11

その他

- 外泊時の訪問看護について

入院中に外泊する際、医療保険で訪問看護利用できる。一回の訪問時間は最大90分までで対象となるのは、医療依存の高い方や医師の診療に基づき外泊中の訪問看護の必要性を認められた方。

* 制度は複雑ですが、まずはご相談下さい。

利用に関する相談等、気軽にお電話してください。
(*^_^*)

12